

二番丁幼稚園の合言葉「ありがとう」

二番丁幼稚園では、教職員間でも「ありがとう」の言葉を聞くことが多いです。

もちろん子どもからも「ありがとう」を聞きます。教職員も場面をとらえて、子どもたちに「ありがとう」について、指導をしている場面も見かけます。

当たり前のことかもしれませんが、二番丁幼稚園のよさの一つは、そこになるのかもしれない。

そこで、二番丁幼稚園の合言葉を、「ありがとう」にしたいと考えています。

「ありがとう」を合言葉にすることで、次のようなことを願っています。

- ・ ありがとうを通して、自分自身の心が、ほかほかする。
- ・ ありがとうを通して、相手を思う気持ちがさらに伸びる。
- ・ ありがとうを通して、お互いが温かい関係になれる。
- ・ ありがとうを通して、自分自身がよりプラス思考になる。
- ・ ありがとうを通して、自分の成長を振り返ることが出来る。
- ・ ありがとうを続けることで、クラスの連帯感、幼稚園全体の連帯感が高まり、「自分の幼稚園」という所属感が高まる。
- ・ ありがとうを続けることで、居心地のいい社会を築く一歩になる。

上記のように、前向きな生き方につながると確信しています。

どのような場面で、合言葉を使うかについては、

- ・ 各クラスで毎日、先生が園児に「合言葉は」と尋ねて、園児が「ありがとう」と応える。
- ・ 全園児が集まる場所で、「合言葉は」と尋ねて、それに「ありがとう」で応える。

と、考えている。

合言葉の定着、幼稚園の特色の一つとして、「ありがとう」を園内や外部から見える場所に掲示しようと考えています。